

看護部人材育成の方針

私たちは、看護職一人ひとりが、継続的な学習に主体的に取り組むことを支援する教育システムを構築しています。看護の専門職としての役割を發揮して“思いやりの看護”を提供できる人材の育成と共に仕事と生活の調和を図りながら継続して働くことにも重点を置いています。

【新人看護師の育成ーレベルⅠ看護師への道のり】

新人看護師の学習支援は、基礎教育で学んできた内容を実践し、「経験を通して学習すること」の基礎を形成する重要な時期です。全職員が新人看護師に関心を持ち、「必要に応じて助言を得て実践する」看護師から、「標準的な実践を自立して行える」看護師に成長できるよう皆で支援しています。

【中堅看護職員のキャリア開発と実践化ーレベルⅡ～レベルⅣ看護師への成長】

中堅看護職員は、キャリア形成において重要な段階にあります。経験値の増加と共に「判断と実践」から「ロールモデル」への成長を求められるため、不安や負担、迷いなども顕在化してきます。常に自己が目指す看護を確認しつつ、総合看護力のあるジェネラリストを目指して生涯学習支援を推進していきます。

【専門性向上への支援ースペシャリストナースへのチャレンジと役割發揮】

今後も高度な専門性を發揮して活躍する看護職員が求められます。一人ひとりが自己のキャリアニーズに向けて研鑽を積み、能力開発に取り組めるための支援体制を整備しています。現在も多くの特定認定看護師、認定看護師、特定看護師、各種学会資格取得者が活躍し、院内だけでなく地域の医療・福祉に貢献できるよう役割發揮しています。

【中間管理者の育成ーレベルⅣからマネジメントリーダーⅡそしてⅢへ】

中間管理者は、医療・看護を取り巻く現状を把握し、当院の役割機能を理解した上で、戦略的な管理実践が求められます。病院看護管理者の6つの能力を地域まで視野を広げて管理実践できる管理者となれるように支援しています。

令和5年10月1日

看護部長 山本 美紀